

# 1. はじめに

## 1 - 1 背景と目的

観光立国の実現については、2010年までに訪日外国人旅行者数を1000万人に増加させることを当面の目標として、国を挙げて様々な取り組みが進められている。

観光立国実現には「日本の魅力・地域の魅力の確立」「日本ブランドの海外への発信」と併せて、官民一体となって良好な景観形成や旅行しやすい観光地づくりを推進する等の「観光立国に向けた環境整備」が重要である。

2004年の景観法成立を契機として各地で様々な取り組みが増えつつあるものの、依然として、多くの観光地では違反屋外広告物等が乱立する状況が見受けられる。これは、良好な景観を阻害しているという点だけでなく、訪日外国人をはじめとする観光客の一人歩きを助ける案内標識の視認性を低下させている点からも問題となっている。

そこで、本業務では、観光立国に向けた環境整備を推進するため、特に良好な景観形成の阻害要因及び本来必要な案内標識の視認性確保の阻害要因と考えられる違反屋外広告物に着目し、その除却等の徹底及び適切な屋外広告物のあり方のための基礎資料を作成することを目的とする。

## 1 - 2 本書の構成と作業フロー

本書は、下記項目について検討し、成果を作成した。

- 違反屋外広告物の除却等に関する実態把握
- 違反屋外広告物の除却等に関する現状及び課題の整理
- 観光地等景観上重要な位置付けが想定される地区における違反屋外広告物の除却等推進方策の検討

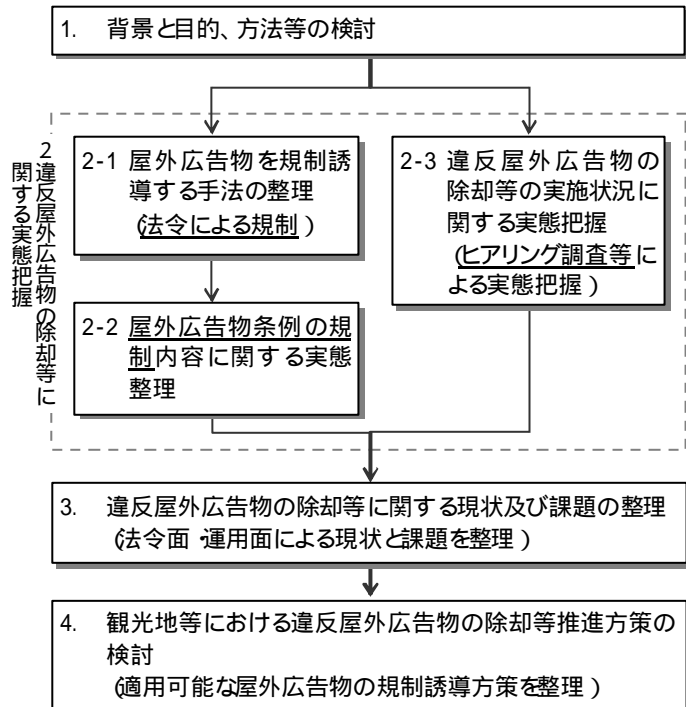


図 1 - 1 作業フロー図